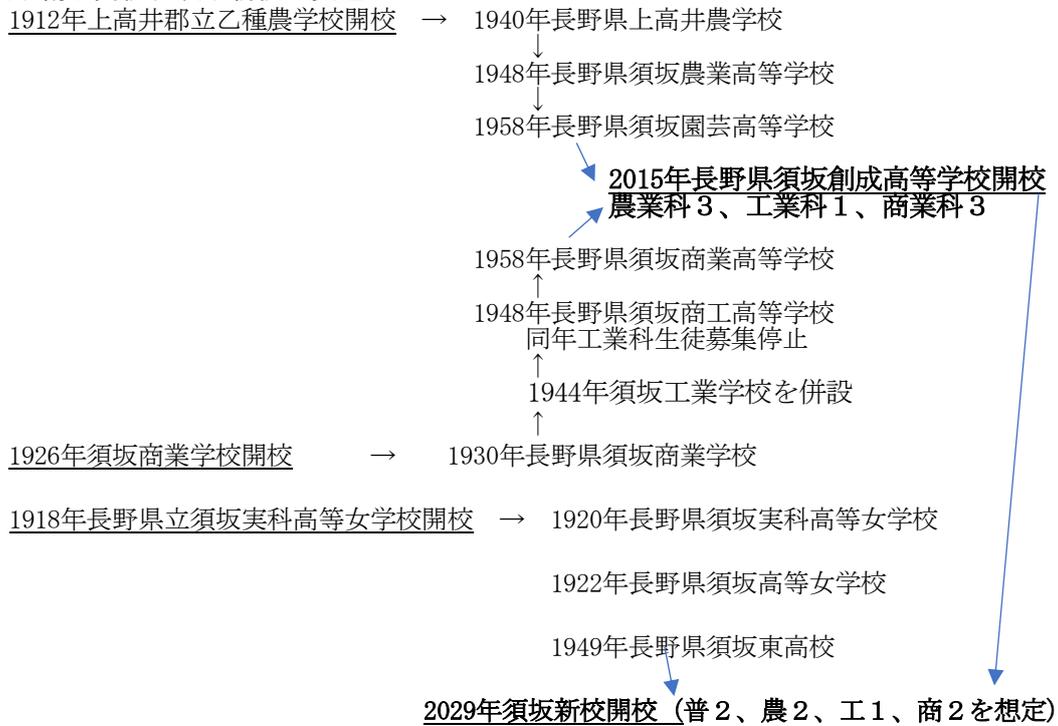


令和6年(2024年)4月25日

総合技術高校における学びについて

須坂創成高等学校 羽山 功

○須坂創成高校、須坂新校の変遷



◎回想

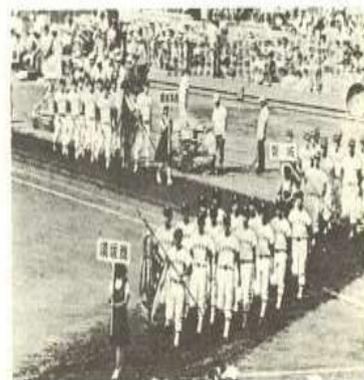
野球部の活躍 2年連続で須坂市内の高校が夏の甲子園に出場

昭和45年に須坂園芸高校

昭和46年に須坂商業高校



県大会での優勝行進



入場行進 (甲子園球場)



甲子園出場メンバー (昭和45年)



1 須坂商業高等学校と須坂園芸高等学校の再編統合

(1) 須坂創成高校設置理由

須坂商業高等学校と須坂園芸高等学校を再編統合し新たに工業科を加えて設置する総合技術高校として、地域の要請に応え、専門力と創造力を有する地域産業の担い手を育成するため、産業教育の拠点にふさわしい学科を設置する。

(2) 懇話会等の開催

地域とともに須坂新校を考える懇話会 13 回
校名選考委員会 8 回



2 本校生徒の状況

(1) 出身地区別生徒数割合（令和 4～6 年度入学生）

須坂・上高井：39.5%、中野・下高井：4.3%、長野：53.6%、上水内・その他：2.6%

(2) 進路状況（令和 3～5 年度、別紙「進路状況」参照）

進学者の割合が増加し、進学≒約 68%、就職≒32%

内訳 進学：大学 22.6%、短大 10.5 %、専門学校等 35.3%

就職：須坂管内 11.7%、飯山管内 1.8%、県内 13.5%、県外 0.3%

公務員 1.1%、自営 0.6%（5 名：設備関係、建設関係、造園、農業）

家居等 1.3%

※数値は全体に対する割合

3 須坂創成高校の学び

(1) 設置学科・コースと令和 6 年度 3 年生の専攻人数

○農業科：3 学科 7 コース

園芸農学科：農業の 6 次産業化や新たな農業形態・農業ビジネスを創造する能力を養う
果樹(23 人)、野菜花き(22 人)、作物(12 人)

食品科学科：豊かな食生活を創造する能力を養う
微生物バイオ(12 人)、食品製造 (17 人)

環境造園科：快適な生活空間や緑地・造園等を創造する能力を養う
造園技術(17 人)、緑地計画(16 人)

○工業科 創造工学科（機械）：1 学科 2 コース

デュアルシステム、技能五輪や高度な資格取得、大学との連携をとおして、実践的な技能を養う

精密工学(23 人)、メカトロニクス(14 人)

○商業科：1 学科 3 コース

マーケット、「ビジネス英語」、ICT を活用した国際商取引の学習をとおして、豊かな人間性と国際社会に通用するコミュニケーション能力を養う

会計 (90 人)、IT (9 人)、マーケティング (16 名)

(2) 学科間の連携：総合技術高校の学びの柱

○総合技術高校の特色（別紙「2024 学校パンフレット」参照）

- ・専門教育の一層の充実を図る
- ・他学科の知識を学習し、より広い専門性を獲得する
- ・農・工・商の活動を結びつけ、柔軟な実践力を身につける
- ・地域・産業界・大学・研究機関等と連携して生徒の希望に則した進路実現を図る

○1 年次に「産業基礎」で地域の産業を学ぶ。2 年次は他学科の専門分野を学ぶ。3 年次は学科の枠を超えた研究活動等を行い、専門性を広げ柔軟な実践力を養う。

○ところが

開校から 2021 年度入学生まで⇒年次統合が大きな壁、2017 年度に完全統合

教員がキャンパスを移動して授業を実施

他学科が開講できる専門科目をキャンパスごとに受講

2 年次の学科連携で 3 学科の生徒が協働しての学びは「植物工場」

※2019 年度入学生まで：農と工の合同、2020 年度入学生以降：3 学科合同

2021 年度入学生まで

設置科目：農業科が選択 工業科目：機械工作

商業科目：ビジネス基礎、ビジネス実務、簿記
(農と工)

工業科が選択 農業科目：なし

商業科目：ビジネス基礎、ビジネス実務、簿記
(農と工)

商業科が選択 農業科目：農業経営、草花、食品製造

工業科目：なし

3 年次の選択科目において 3 学科協働で受講：なし

○大幅な教育課程表の見直し

2019 年度から検討をはじめ、2022 年度入学生から新学習指導要領の改定に合わせて見直し

総合技術高校推進係（各科の主任と教諭、普通科 1 名）が中心となり、学科連携の充実を検討

※各科の専門学習の追求から、学科連携における協働的な学び重視に転換

総合技術高校のメリットを最大限に活かす。総合技術部会研究会における各校の視察交流・意見交換が職員の意識改革に繋がる。

2 年次：学科連携科目は、農・工・商の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を実施するなどし、以下の資質・能力の育成等を目指して見直し。

教科：産業

科目：農業科教員が担当（（ ）内は令和 6 年度各科の選択人数）

・農業生産技術（農 20 人、工 5 人、商 15 人）

農産物の生産から流通までマネジメントするために必要な資質・能力を育成

・ヒューマンサービス（農 19 人、工 0 人、商 20 人）

園芸作物の活用により、社会福祉の形成に必要な資質・能力を育成

工業科教員が担当

・工業生産技術（農 12 人、工 7 人、商 13 人）

工業製品がどのように企画・開発・設計され、どのようにつくり出荷されているのかを学ぶことで、産業を多面的に捉える能力を育成

農・工・商の生徒が連携や融合を図りながら協力し合い、幅広い知識と技術を学ぶことで、産業を広い視野で捉えられる知識の習得

商業科教員が担当

・経営管理（農 13 人、工 8 人、商 0 人）

取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を育成

農業と商業の教員が担当

・起業概論（農 27 人、工 13 人、商 35 人）

起業に必要な資質・能力を育成

・地域創成（農 19 人、工 0 人、商 21 人）（別紙「連携授業まとめ」参照）

地域経済の発展に寄与するために必要な資質・能力を育成



森上小学校との交流

農業と工業の教員が担当

- ・植物工場（農10人、工6人、商14人）
植物工場の運用に必要な資質・能力を育成



3年次：課題研究は3学科とも金曜日の2～4時限に実施

- ・最低でも1課題は、学科連携によって協働して地域の課題解決に取り組む
今年度のテーマ等

「須坂市街地への集客向上に向けた取り組み」

農業：オリジナル商品の開発、農産物販売

工業：作品の展示・販売

商業：イベント企画、チラシ作成、オリジナル商品及び全国の専門高校の生産物販売

- ・他学科の職員に課題研究の研究充実に向けた支援依頼会議開催

○資格取得について

本校で取得可能な各科の学びに関する資格と、資格を取得することで従事できる仕事等（別紙「本校で取得できる専門学科の資格」参照）

農業科で取り組んでいる資格の一部（短期講習で取得可能な資格）は、他学科の生徒も休日等に本校で受講・受検可能（フォークリフト、小型移動式クレーン等は、一般的には中部労働技能教習センター長野会場等に出向いて受講・受検）

(3) 地域連携学習

- ・デュアルシステムとは

ドイツを発祥とする教育と職業訓練を同時に進めるシステム

ドイツでは昼間は企業で訓練生として働き、夜学ぶという体制で実施

- ※マイスターの資格取得を目指す

- ・日本版デュアルシステム

デュアルシステムの特徴は、企業で実践的な職業教育を受けることにあるため、協力企業の確保は不可欠

○創造工学科のデュアルシステム

- ・目的：学校と地域・企業が協働して生徒を育てる
地域産業界の核となる人材を育成

将来の工業人としての資質や能力の一層の伸長
 働くことの意義や自己のあり方を学ぶ
 実践的なものづくり技術や先端技術の基礎・基本の習得
 高いレベルの規範意識や倫理観の醸成

・支援組織

須坂市産業連携開発課：学校と企業の橋渡し

創造工学科デュアルシステム受入れ協力企業会：会員企業 60 社（R6.4.1 現在）

・就業体験

	2 年生	3 年生
名称	就業体験	企業実習
実施時期	8 月、10 月	5 月から 7 月
日数	6～10 日（3～5 日×2 回）	8 日（週 1 日×8 週）
単位認定	無	2 単位
目標課題	無	有
1 企業の受入人数	1～2 名	1～2 名
事前打ち合わせ	生徒と企業担当者で	生徒、教員、企業担当者

・研修に関する令和 5 年度のアンケート結果（別紙「企業実習 生徒、企業アンケート」参照）

3 年生：「高校では体験できないことをさせていただき大変勉強になった。高校在学中に同様の研修があればぜひ参加したい」といった生徒が大多数であった。

受入企業：研修生を受け入れることで若手社員教育になり、企業としても大変メリットがあると回答いただく一方で、負担という企業もある。

学校全体：創成高校のイメージ向上により、地元企業が積極的に採用くださる。生徒に学ぶことの必要性を実感させてくださる。

(4) 今後の課題

- ・地域及び連携の充実と職員の業務軽減（コーディネーターの確保）
- ・須坂新校の学びの充実に向け、両校の生徒・職員の交流の充実と新校愛の醸成

4 須坂新校開校に向けて

(1) 再編の進捗状況

- ・須坂新校の懇話会と校地検討会議の開催

年	月	日	懇話会	校地検討部会
2021	12	13	①：実施方針、再編整備計画【二次】の説明等	
2022	2	28	②：研修会「総合技術高校」「新たな普通科」	
	4	26	③：各校生徒による学校紹介、学びのイメージ	①：趣旨、スケジュール説明
	6	27	④：テーマ別意見交換会	②：活用する校地の検討
	9	15	⑤：講演「これからの高校を考える」	
	10	20	⑥：グループ討議「学びのイメージ」	
	11	15	⑦：学びのイメージ（素案）に関する討議	
2023	12	13	⑧：学びのイメージ（修正素案）に関する討議	
	1	20	⑨：学びのイメージ（原案）に関する討議	
	3	13	⑩：学びのイメージ（修正原案）に関する討議	

	4	27	⑪：校地選定、再編実施基本計画合意	④：活用する校地の選定
	7	18	⑫：講演「コミュニティデザインハイスクールで何ができるか」	
	10	20	⑬：NSD プロジェクト、統合方法意見交換	
	12	25	⑭：施設整備基本計画提案説明、意見交換	
2024	4	26	⑮：施設整備基本計画案説明、意見交換	

- ・須坂新校の学校像について（別紙「須坂新校の学校像」参照）
- ・須坂新校の校地：須坂創成高校を活用
- ・募集学級数：4学科あわせて7学級程度（農業科2、工業科1、商業科2、新しい普通科2を想定）
- ・開校年度と統合方法：令和11年度開校は決定、懇話会では一斉統合で意見集約
 入学者選抜 令和9年度から須坂創成高校5学級（農2、工1、商2）、須坂東高校2学級で募集していくことを検討
 令和11年度は須坂新校として選抜実施、2・3年生は須坂新校に転校
 令和9・10年度入学生は、一斉統合後に他学科の専門科目を選択できるように令和6年度中に教育課程表を見直し。令和7年度には粗々の新校の教育課程表作成、令和8年6月には完成版に
 令和8年度には地域説明会や中学校進路講話にて、須坂新校の学びを周知
- ・施設整備について
 11月5日に基本計画策定支援業務委託プロポーザル2次審査が行われ、基本計画策定支援業者決定
 ワーキンググループ（主催：両校）
 2月9日：両校WGメンバーへNSDについて説明、WGの進め方、スケジュール等（県教委より）
 3月12日：両校WGメンバーと設計業者の打ち合わせ（学校側よりの要望、設計業者よりの説明）
 3月15日：両校WGメンバーによる施設に関する考えのすり合わせ、県教委をつうじて設計業者に提出
 ※4月に基本計画案、6月に基本計画策定、業者が県教委に提出
 ワークショップ（主催：設計業者・県教委）
 第1回（12月27日）に設計業者が来校して実施（須坂東高校は別日に）
 新しい学校について：設計業者から計画案の説明、質疑応答
 第2回（2月13日）
 生徒・教員・地域の方々に「須坂ってどんなところ」といったテーマでディスカッション
 第3回（3月4日）
 生徒：4科融合によってどのような学びができるか、FLAの活用についてディスカッション
 地域の方々に：地域と学校の融合により、どのような学びが展開できるかディスカッション
 第4回（4月に計画）
 地域と学校と一体となって考える：生徒、教員、地域が混ざってディスカッション
 第5回（5月に計画）
 FLAの活用検討：ショッピングセンターパルムなどでのFLAの使い方を考える
 第6回（6月に計画）

これからの新校：ワークショップで変わったところの説明、この先どうなっていきたいか

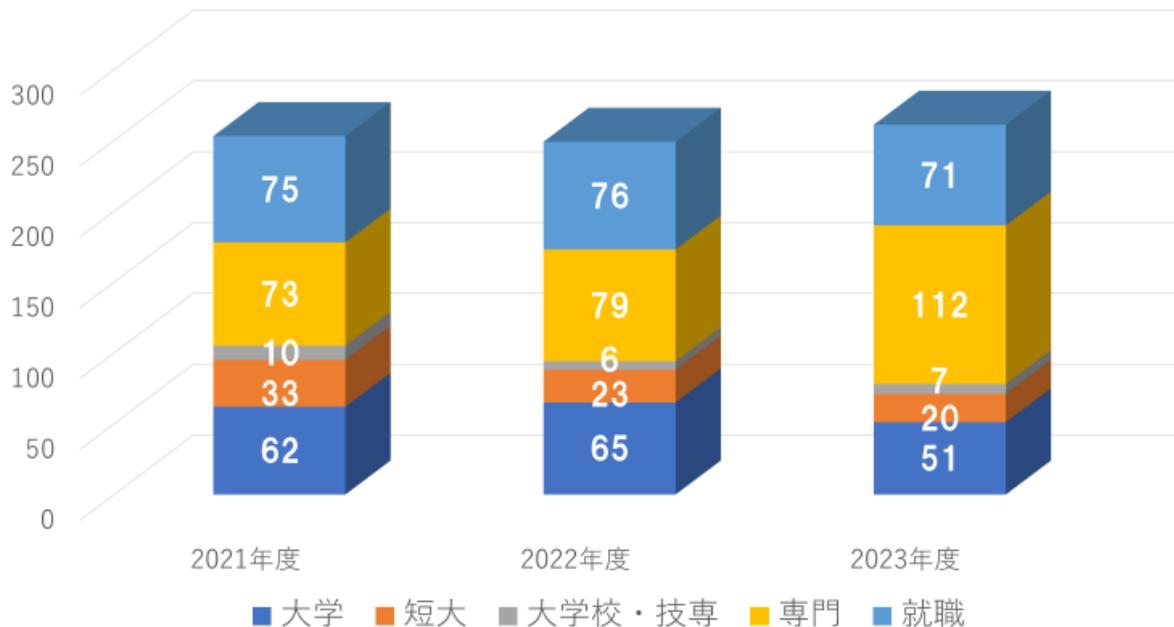
(2) 再編に対する校内職員の捉え方

現時点での注目は専ら校舎改築に寄せられており、生徒・職員が夢を持って時間を共有できる施設にすることが、統合に向けた大きなハードル

(3) 今後の課題

- ・両校の交流の一層の充実
 - 令和5年度：両校の文化祭等を互いに見学
 - 令和6年度：文化祭等に相互出展、部活動の合同練習（弓道部、吹奏楽部、合唱部）
 - 令和7年度：探究研究合同開催予定
 - 令和8年度：クラスマッチ合同開催予定
- ・職員が転勤先に須坂新校を希望するような地域探究システムの構築と業務量の縮減
- ・デュアルシステム等の地域研修や地域探究を支援してくださる連携会議の設置
- ・中学生は入りたい、保護者が入りたいと思う高校にするため、学校・地域・行政が一体となって新校の魅力づくりに取り組み、成果を細目に配信

須坂創成高校における3年間の進路状況



①農業科

大学

宇都宮（農）、日本（生物資源科）、東京農業（地域環境科・国際食料情報）、東海（農）、**城西（経営マネジメント総合）、国士館（政経）、帝京（文）、立正（地球環境科）、関東学院（理工・経営）、愛知学泉（家政）、桜美林（ビジュアル・アート・芸術文化）、金沢学院（芸術・健康）、健康科学（健康科）、城西国際（経営情報）、清泉女学院（人間・看護）、高崎健康福祉（農）、中京学院（看護）、東京福祉（心理）、東北芸術工科（デザイン工）、長岡崇徳（看護）、新潟食糧農業（食料産業）、新潟薬科（応用生命科）、松本（総合経営・人間健康）、ヤマザキ動物看護（動物看護）、尚美学園（スポーツマネジメント）、長野保健医療（看護・保健科）、帝京科学（生命環境）、東京医療保健（医療保健）、名古屋経済（人間生活科）、酪農学園（農業環境）**

※太字は他学科に関連した大学に入学した生徒

短大

上田女子（保育・総合文化）、清泉女学院（国際コミュニケーション・幼児教育）、松商（経営情報）、長野女子（生活科）、長野（幼児教育・食物栄養）、新島学園（キャリアデザイン）、洗足こども（幼児教育保育）、佐久大学・信州（福祉）、千葉経済（ビジネスライフ）、

※太字は他学科に関連した大学に入学した生徒

専門学校

長野県農業大学校（総合農学）福島県農業短期大学校（農業）群馬中央情報大学校（電気通信）
 千葉県立農業大学校（農業）長野県福祉大学校（保育）岐阜県立国際園芸アカデミー（マイスター科造園緑化）長野理容美容（美容）長野調理製菓（調理製菓）長野看護（第1看護）
 岡学園トータルデザインアカデミー（ファッション・グラフィック・デザインビジネス）

信州スポーツ医療福祉（柔道整復・スポーツトレーナー・はりきゅう・介護福祉）
長野技術（機械加工） 武蔵野栄養（栄養）横浜こども（こども総合）
大原スポーツ公務員 大原簿記情報ビジネス医療（医療事務・システム開発）
カレッジ・オブ・キャリア（ブライダルホテル・デジタル）長野平青学園（ICT システム・デザイン）
国際映像メディア（演劇・声優スタッフ）国際ペットワールド（動物看護師理美容・ペットケアビジネス・
ペット美容）東京メディカルスポーツ（理学療法） 長野社会ふくし（介護福祉）
長野救命医療（柔道整復師）新潟こども保育カレッジ（こども保育）
新潟農業バイオ（フラワーデザイン・バイオテクノロジー）
日本こども福祉（こども保育） ホンダテクニカルカレッジ関東（サービスエンジニア）
前橋医療福祉（作業療法） 松本調理師製菓師（調理技術） 松本理容美容（理容）
未来ビジネスカレッジ（パティシエ・ブーランジュ）横浜保育福祉（保育こども）

②創造工学科

大学

信州（工）、神奈川（工）、金沢工業大学（工・建築）、埼玉工業（工）、上武（ビジネス情報）、駿河台（法）、
千葉工業（工）、松本（人間健康）、**立正（テーターサイエンス）**、愛知工業（工）、
山梨学院（経営）、神奈川工科（情報）、東海学院（健康福祉）

※太字は他学科に関連した大学に入学した生徒

短大

松商（経営情報）

専門学校

長野県工科短期大学校（システム制御・情報エレクトロニクス）長野県林業大学校
エプソン情報科学（情報電子機械）
日本工学院八王子（CG映像・機械設計・情報処理）
松本技術（建築）、太田医療技術（理学療法・臨床工）
大原スポーツ公務員（ビジネス）
岡学園トータルデザインアカデミー（ビジネス）、窪田理容美容（美容）
埼玉コンピューター&医療事務（クリエイター）
ESP エンタテイメント東京（ギター）
長野美術（ビジュアルアート）、伝統文化と環境福祉（伝統建築）
東京観光（鉄道サービス）、日本電子（ゲーム制作）
バンタンゲームアカデミー（ゲームプログラム総合）
ホンダテクニカルカレッジ関東（一級自動車整備）
前橋医療福祉（理学療法）
長野自動車（二級自動車整備）長野技術（電気工事）
長野理容美容（美容）

③商業科

大学

高崎経済（経済）、長野（企業情報）、明治（政経）、明治学院（法）、日本（商・法・経済）、東洋（総合情報）、駒澤（経済）、専修（商・経営）、名城（経営・経済）、神奈川（経営）、東京経済（経営）、日本体育（体育）、大東文化（経営・スポーツ）、文教（情報・国際・経営）、千葉商科（サービス創造）、高崎商科（商学）、**関東学院**（経営・経済・国際文化・人間共生・**理工**）、桜美林（リベラルアーツ・ビジュアルアーツ）、立正（社会福祉・データサイエンス）、帝京（経済・文）、**埼玉工業（工）**、松本（総合経営・人間健康）、清泉女学院（看護・人間）、長野保健医療（看護・保健科）、産業能率（経営）、山梨学院（経営・スポーツ）

※太字は他学科に関連した大学に入学した生徒

短大

大月（経済）、新島学園（キャリアデザイン）、高崎商科（現代ビジネス）、松商（商・経営情報）、清泉女学院（国際コミュニケーション・幼児教養）、埼玉女子（国際コミュニケーション）、長野女子（生活科学）、洗足こども（幼児教育保育）、高崎商科（現代ビジネス）、東京交通（運輸）、日本歯科大学東京（歯科衛生）

専門学校

長野県福祉大学校（保育）大原スポーツ公務員 長野理容美容（美容）
長野看護（第1看護・准看護）岡学園トータルデザインアカデミー（デザインビジネス・ファッション）
高崎動物（プロトリマー）上田情報ビジネス専門学校（公務員）
エプソン情報科学（情報システム）太田医療技術（看護・臨床工学）
大原簿記情報ビジネス医療（システム開発・医療事務）大宮国際動物（愛玩動物看護）
大宮こども（こども総合）国際調理製菓（栄養士・シェフ・パティシエ）
カレッジ・オブ・キャリア（ブライダルホテル）北里大学保健衛生（臨床検査技師）
国際ペットワールド（動物看護・海洋生物）小諸看護（看護）佐久総合病院看護
尚美ミュージックカレッジ（声優）信州スポーツ医療福祉（柔道整復・スポーツトレーナー）
東京ビジネス外語カレッジ 長野救命医療（救急救命士）
長野美術（ビジュアルデザイン） 長野平青学園（ICTシステム・医薬サポート）
長野社会ふくし（介護福祉）新潟国際ホテルブライダル（ホテルウェディング）
日本医科学（看護師） 日本外国語（海外留学） 日本工学院八王子（デザイン）
松本調理師製菓師専門学校製菓技術学科
未来ビジネスカレッジ（動物看護師）
読売理工医療福祉（介護福祉）

就職

農業科	創造工学科	商業科
自衛官	自衛官	国家公務員(税務)
須坂市役所	株式会社コシナ	長野県職員
株式会社コシナ	株式会社マウスコンピューター	須坂市役所
株式会社しなの富士通	アスザック株式会社	高山村役場
株式会社タカギセイコー	アスザックフーズ株式会社	有限会社えんとく培養センター
有限会社仲條建築	有限会社稲田製作所	株式会社コシナ
アスザック株式会社	オリオン機械株式会社	長野FCLコンポーネント株式会社
アスザックフーズ株式会社	オリオン精工株式会社	株式会社長電ホテルズ
エスメディカル株式会社	興和ゴム工業株式会社	株式会社青木鐵工所
株式会社小布施堂	株式会社酒井商会	アスザック株式会社
有限会社河東工業	株式会社サンジュニア	アスザックフーズ株式会社
株式会社さつき苑	伸商機工株式会社	アトリオン製菓株式会社
株式会社ショーシン	株式会社鈴木	オリオン機械株式会社
信越理研株式会社	テクノエクセル株式会社	オリオン精工株式会社
株式会社鈴木	株式会社ニッター	興和ゴム工業株式会社
テクノエクセル株式会社	株式会社ヒーテック	株式会社鈴木
株式会社中島製作所	株式会社広田製作所	テクノエクセル株式会社
NPO法人パウル会	株式会社前田鉄工所	株式会社ヒーテック
広田産業株式会社	明治産業株式会社	株式会社ヘルティー長野営業所
株式会社ヘルティー長野営業所	株式会社市川精機	株式会社前田鉄工所
株式会社前田鉄工所	FICT株式会社	丸善食品工業株式会社
丸善食品工業株式会社	JR長野鉄道サービス株式会社	株式会社INFINITE
明治産業株式会社	新光電気工業株式会社	有限会社鶴野興産
株式会社SORA,HAIR,MAKE	長野日本無線マニュファクチャリング株式会社	FICT株式会社
株式会社市川精機	FICT株式会社	株式会社エムデジ
株式会社岩野商会		カイシン工業株式会社
FICT株式会社		株式会社サンテック
株式会社角藤		有限会社シーポート・カンパニー
清水種苗株式会社		新光電気工業株式会社
新光電気工業株式会社		新光電気工業株式会社
信陽食品株式会社		株式会社ツルヤ
株式会社高見澤		長野運送株式会社
長鉄開発株式会社		株式会社長野ナブコ
株式会社ツルヤ		長野日本無線マニュファクチャリング株式会社
長電バス株式会社		日本郵便株式会社 信越支社
長野運送株式会社		株式会社ビッカークリエイト
長野興農株式会社		FICT株式会社
長野日本無線マニュファクチャリング株式会社		藤屋御本陣
マルコメ株式会社		マルコメ株式会社
丸善食品工業株式会社		株式会社みすずコーポレーション
株式会社みすずコーポレーション		
株式会社ミスズライフ		
株式会社ラウンドワン		
和光食品工業株式会社長野工場		
株式会社綿半ホームエイド		
山崎製パン株式会社		

本校で取得できる専門学科の資格



◆本校は農業科・工業科・商業科が連携し、学科が協働し、あなたの進路実現を強力に支援する【総合技術高校】です。

◆学校の見学について◆

今年度の公開授業は以下のとおりです。創成フェア以外は中学の先生を通じて申し込みをしてください。

- 授業公開 5月18日(土) 11月16日(土)
- 創成フェア 10月26日(土)・27日(日)
- 課題研究発表会 1月31日(金)

◆農業科関係の資格取得について

日本農業技術検定 (農業科)

農業の知識や技術を評価して認定する試験です。学校で学んだ農業に関する知識・技術がどの程度身についているかを証明します。農業や食品関係の学校を受験する際や、農業法人、JA、自治体、食品関連企業などへの就職活動にあたって強みになります。(R4/3級・50名)
(R5/3級・76名)



危険物取扱者試験 (全学科)

危険物の取り扱いなどに必要な資格で、取り扱える危険物の種類及び権限の違いで3種類に分類されます。危険物とは、ガソリンなどの可燃性の高い物品のことで、資格を取得すれば危険物を扱う工場やガソリンスタンドなどで働く際、必要とされます。(R5/農3名)
(R4/農7・工3・計10名)



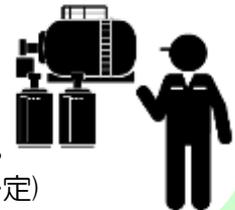
毒物劇物取扱責任者試験 (全学科)

毒物や劇物を取り扱う施設や企業で、対象の物質を適切に管理し、取り扱うための知識や技術を持つ責任者を認定するための国家試験です。毒物や劇物に分類される薬品や農薬を取り扱う施設では責任者が必要になり、その責任者になることができます。



普通第一種圧力容器取扱作業主任者技能講習 (全学科)

圧力容器とは内部や外部からの圧力に耐えられるように設計された密封容器のことです。一定以上の容量をもつ圧力容器(大型ボイラーなど)を取り扱う際に必要となる資格です。施設の暖房や給食施設で使用する調理用ボイラーなどを扱うことができます。
(令和5年度より受験予定)



ガス溶接技能講習・アーク溶接特別教育 (全学科)

ガス溶接にはガスを使用し、アーク溶接には電気を使用します。ガス溶接は燃焼ガスを使い、高温の炎で材料を溶かして接合する溶接方法です。アーク溶接は溶接棒と母材の間に発生させた高温のアーク熱で、母材と溶加材を溶融させ接合する溶接方法です。溶接は金属を繋げる技術として良く知られていますが、金属製造業だけでなく板金・塗装業、自動車・機械修理業、建設・土木業、管工事業や解体工事業など、幅広い分野で必要とされている技術です。(R4/ガス溶接 農1・工23 :計24名/アーク溶接 工19名)



小型移動式クレーン運転技能講習

(全学科)

積載型トラッククレーンなどで、つり上げ荷重が 5 t 未満のクレーンを操作することが出来る資格です。この資格は重量物の運送・土木業・建設業・造園業や電気通信業等、多くの職種で必要です。



(R4/農 1・工 7・計 8名)

玉掛け技能講習 (全学科)

クレーンで荷物を移動する際に、重さを計算してワイヤーロープを荷物に掛け、安全に移動させる作業を行うときに必要な資格です。クレーンとセットで資格取得すると便利です。建設業、製造業、運送業や鉄工業など、多くの職種で必要とされます。



(R4/農 4・工 1 計 5名)

小型車両系建設機械運転特別教育

(全学科)

整地、運搬、積込み、掘削などの工事現場で活躍する建設機械のうち、機体重量 3 トン未満の小型車両系建設機械を操作するために必要な資格です。



(R4/農 13 工 4 計 17名)

(R5/農 6 商 1 計 7名)

フォークリフト運転技能講習

(全学科)

フォークリフトは大量の荷物の運搬が必要な物流業界、建築・土木現場、また産業廃棄物処理、空港、港湾ターミナルなどでも、荷物を迅速に運搬できる役割として活躍しています。このフォークリフトを取り扱うための資格です。



(R4/農 16 工 17 計 33名)

(R5/農 13 工 1 商 2 計 16名)

刈払機取扱作業安全衛生教育

(全学科)

刈払機は、取り付けた刃を高速回転させて雑草や山林の下草を刈り取る機械のことで、刈払機の安全な使用について学びます。この資格は農業や林業だけでなく、造園業、建設業など、幅広い分野で必要です。



(R4/農 11 工 2 計 13名)

高所作業車運転技能講習 (全学科)

高所での電気工事や、橋梁・トンネル等の点検・補修工事などに使用される機械です。作業床や昇降装置などから構成され作業床の高さが 10m 以上の高所作業車の運転には、資格が必要です。建設業、電気通信業、板金業、塗装業などに必要です。



(R4/農 22 工 1 計 23名)

(R5/農 22名)

3級造園技能検定 (環境造園科)

造園の基礎的な知識・技術を身に付ける資格です。造園業に携わる上で必須ではありませんが、造園技能検定を取得すると、造園に関する一定の知識や技術を持っていることを公的に証明でき、就職への強みになります。

(R4/農 14名)

(R5/農 13名)



2級造園施工管理技士検定 (環境造園科)

本資格は、第一次試験の学科試験と、第二次試験の実地試験からなる資格です。高校では学科試験のみ受験可能です。造園の仕事における、現場の責任者になることのできる資格です。この資格を持っていなくても、造園の仕事で働くことはできますが、仕事の幅が広がるので、持っている会社で大変優遇されます。



初級バイオ技術者認定試験 (食品科学科)

バイオテクノロジーは、生物のもっている様々な機能を合理的に利用する技術です。身近な物は発酵食品やお酒などがあげられます。そのような目には見えない生物を利用するにあたり、知識や技術が身に付きます。

(R4/農 9名)

(R5/農 14名)



FFJ 検定 (農業科)

1年生で初級検定、2年生で中級検定と希望者が上級検定を受験します。日頃の授業の内容の確認や2年生の授業内で取り組む研究が自分に定着しているかを確認でき、毎日の努力の積み重ねで科学性・社会性・指導性を身につけられているかを客観的に評価する検定です。

(R4/上級 67名)

(R5/上級 54名)



◆創造工学科【工業科】関係の資格取得について

計算技術検定

複雑な数値計算を正確にかつ短時間に行うことは、ものづくりにとって極めて大切なことです。関数電卓の正しい使い方や計算の手順を理解する中で、これから学んでいく機械分野の計算に生きていきます。



(R4/33名 R5/35名)

※主催：全国工業高校校長会

情報技術検定

工業技術者として必要な基礎的情報技術に関する知識と技能を習得します。

2進数の計算やプログラム言語(C言語)、プログラミング、システムツニア、プログラマ、ITツニアの進路につながります。



(R4/3級 11名)

(R5/2級 2名・3級 21名)

※主催：全国工業高校校長会

基礎製図検定

ものづくりにとって製図や図面を読む力は必要です。ものづくりを行う上で大切な資格です。

(R4/17名 R5/16名)



※主催：全国工業高校校長会

機械製図検定

基礎製図検定の上級資格となり、ものづくりは図面を見ながらの作業になるのでとても大切な資格です。

進学や就職に有利です。



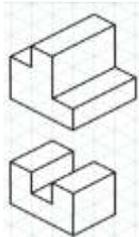
(R4/24名)

(R5/17名)

※主催：全国工業高校校長会

技能検定（機械検査作業）

機械検査作業は、ノギスやマイクロメータなどの測定機器などを用いて機械部品等が指定どおりの寸法で正しく加工されているのか検査する作業です。筆記試験、実技試験があります。将来、品質管理や加工系の就職、進学を目指すときに生かれます。



(R4/3名 R5/5名)

※主催：厚生労働省

技能検定（普通旋盤作業）

旋盤とは、主に円筒形の鉄などを削って部品をつくる工作機械です。この資格は、旋盤工のスペシャリストであると証明できる国家資格です。筆記試験、実技試験があります。

将来、機械加工系の就職、進学を目指すときに生かれます。



(R4/11名)

(R5/ 3名)

※主催：厚生労働省

◆商業科関係の資格取得について

全商ビジネス計算実務検定試験

そろばん・電卓のいずれかの計算用具を用いて、普通計算とビジネス計算の2つの部門により計算実務の能力を問う検定試験です。そろばん・電卓を使用することで数字に親しみ、計算技術の向上は企業でも重要視されています。

(1級 R4・17名 R5・10名)



全商簿記実務検定試験

簿記は、企業で経理事務を担当する人にとって、必要不可欠な資格といえます。1級取得を推薦入試の推薦基準としている大学・短大も多く、大学進学への道が大きく開かれます。さらに、上級の試験を目指し、税理士や公認会計士への道も拓けます。

(1級 R4・47名 R5・41名)



全商ビジネス文書実務検定試験

ビジネス活動では、情報を文書によって伝達します。情報を速く正確に伝えるために、ビジネス文書に関する基本的な知識と入力技能を兼ね備えている必要があります。より高度な知識と技能を身につけ、社会に出て即戦力になります。

(R4 1級3名 2級36名)

(R5 1級8名 2級18名)



全商英語検定試験

職業人として自立するとき、使用頻度の高い言語である英語を身に付けていることは、あらゆる場面で役に立ちます。国際化社会で生きる英語を目指します。英語力は就職に有利ですが、大学進学で国際関連学科などの推薦入試に有利になります。

(R4/1級3名 R5/1級1名)



全商情報処理検定試験

アプリケーションソフトの操作、Webページ等の制作、プログラミングの学習、情報通信ネットワークなど、実際の企業活動を想定し、これからの高度情報社会をリードできる人を

育みます。進路実現に必須の資格になります。(R4/1級5名)

(R5/1級5名)



全商商業経済検定試験

企業が行う経済活動を見据え、ビジネスが実際にどのように行われているかを理解し「お客様が満足する商品やサービス」を提供するための企業活動等について学びます。経済の仕組み、企業経営やわが国の法体系の基礎も学び、社会人としての心構えを育みます。(R4・5ともに1級6名)



全商ビジネスコミュニケーション検定試験

職業人として求められる倫理や経済社会の一員として望ましい心構え、ビジネスの諸活動に適切に対応できる能力と態度について学びます。社会人として必要なマナーやコミュニケーションに関する基礎的な知識・技能を身につけ、進路実現の面接に役立ちます。



財務諸表分析検定試験・財務会計検定試験

管理会計検定試験

金融化された現代社会に生きる会計的センスや企業経営にとって重要な資質であるビジネス・マネジメント能力を育みます。会計書類(数字やデータ)から企業を分析する力を身につけ、進学・就職(特に事務職)に有利になります。

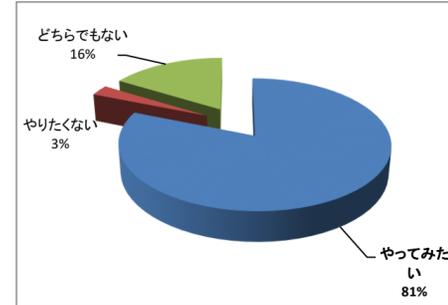
(R5/財務諸表分析 7名)



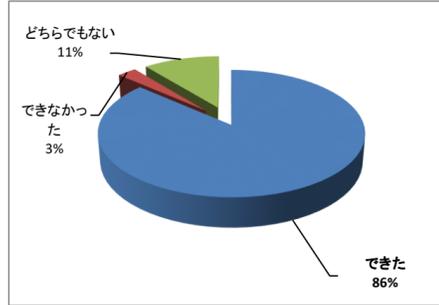
令和5年度(2023年)企業実習 生徒アンケート 集計結果

須坂創成高等学校 創造工学科

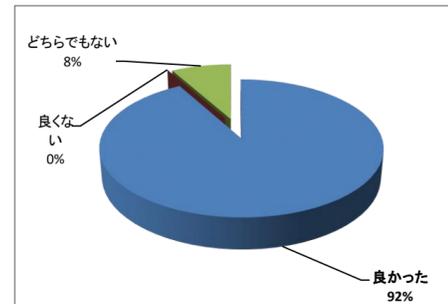
問(1) 企業実習をする前の気持ち



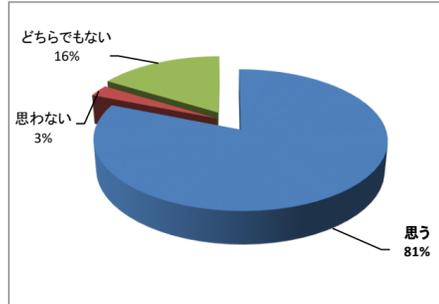
問(2) 目標課題を達成することができたか



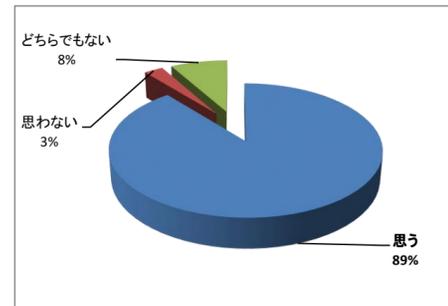
問(3) 企業実習の内容について



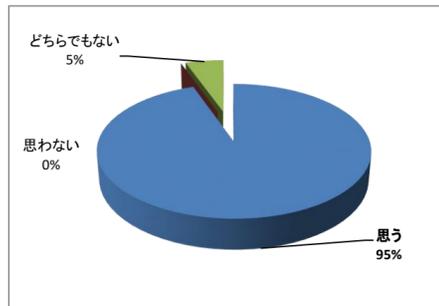
問(4) 実践的な知識や技術・技能を身につけられたと思うか



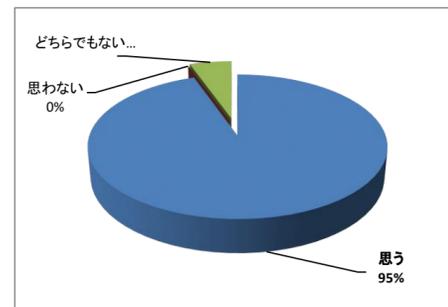
問(5) 課題に対して自ら行動し判断する能力が身についたと思うか



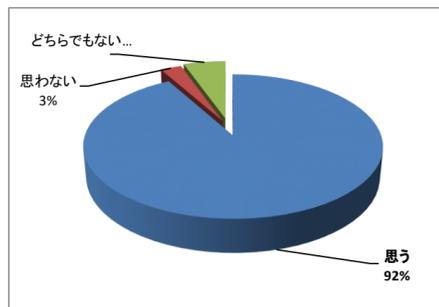
問(6) 挨拶など人との関わりを大切にする能力が身についたと思うか



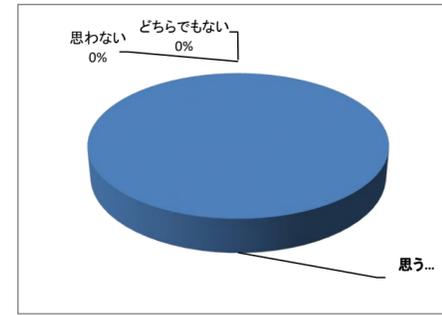
問(7) 年上の人とのコミュニケーション能力が身についたと思うか



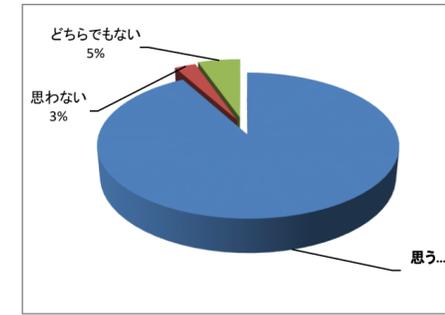
問(8) 働くことの意義や役割を理解する能力が身についたと思うか



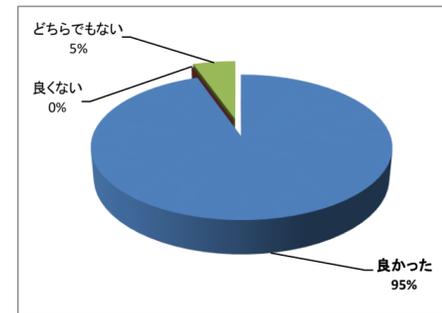
問(9) 社会のルールやマナーを理解する能力が身についたと思うか



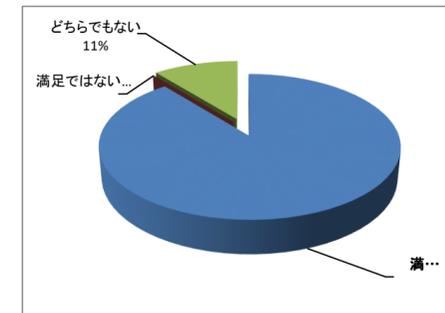
問(10) 職業選択(進路選択)に対する前向きな意欲が生まれたと思うか



問(11) 企業実習期間中の自分の取り組みはどうだったか



問(12) 企業実習を終わってみての気持ちについて



アンケート 回答数

問(1) 企業実習をする前の気持ち

やりたい	やりたくない	どちらでもない	回答数
30	1	6	37

問(7) 年上の人とのコミュニケーション能力が身についたと思うか

思う	思わない	どちらでもない	回答数
35	0	2	37

問(2) 目標課題を達成することができたか

できた	できなかった	どちらでもない	回答数
32	1	4	37

問(8) 働くことの意義や役割を理解する能力が身についたと思うか

思う	思わない	どちらでもない	回答数
34	1	2	37

問(3) 企業実習の内容について

良かった	良くない	どちらでもない	回答数
34	0	3	37

問(9) 社会のルールやマナーを理解する能力が身についたと思うか

思う	思わない	どちらでもない	回答数
37	0	0	37

問(4) 実践的な知識や技術・技能を身につけられたと思うか

思う	思わない	どちらでもない	回答数
30	1	6	37

問(10) 職業選択(進路選択)に対する前向きな意欲が生まれたと思うか

思う	思わない	どちらでもない	回答数
34	1	2	37

問(5) 課題に対して自ら行動し判断する能力が身についたと思うか

思う	思わない	どちらでもない	回答数
33	1	3	37

問(11) 企業実習期間中の自分の取り組みはどうだったか

良かった	良くない	どちらでもない	回答数
35	0	2	37

問(6) 挨拶など人との関わりを大切にする能力が身についたと思うか

思う	思わない	どちらでもない	回答数
35	0	2	37

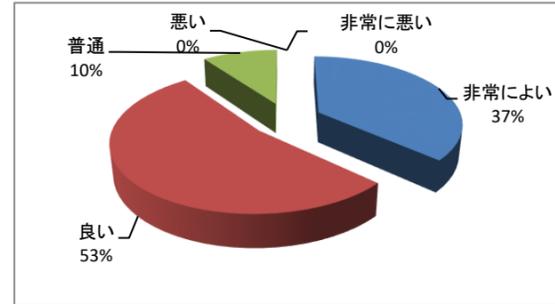
問(12) 企業実習を終わってみての気持ちについて

満足	満足ではない	どちらでもない	回答数
33	0	4	37

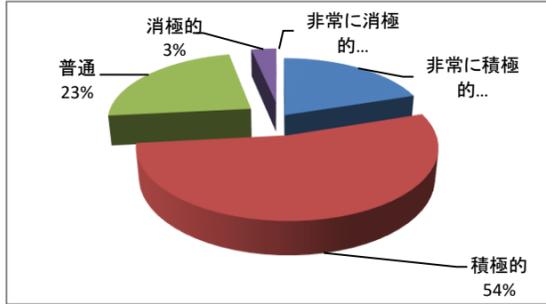
令和5年度(2023年)企業実習 企業アンケート 集計結果

須坂創成高等学校 創造工学科

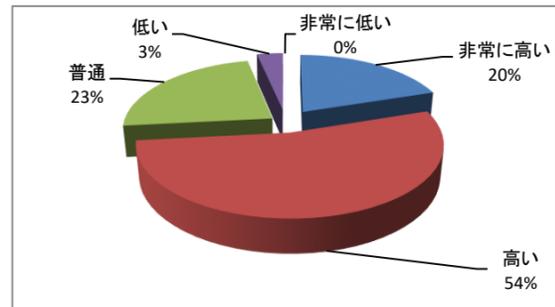
問(1) 企業実習を実施して、全般的にいかがだったでしょうか。



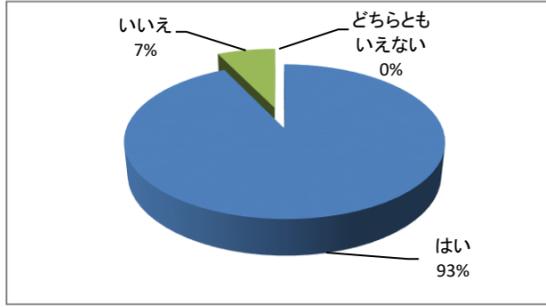
問(2) 参加した生徒は研修に積極的でしたか。



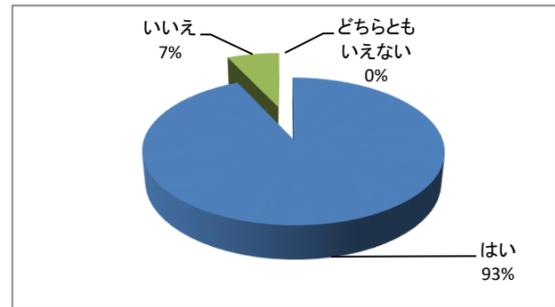
問(3) 生徒の能力は高いと感じましたか。



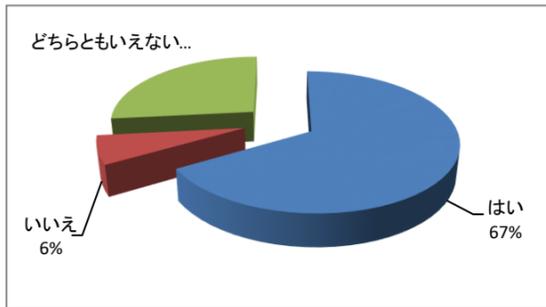
問(4) 目標課題を達成することができましたか。



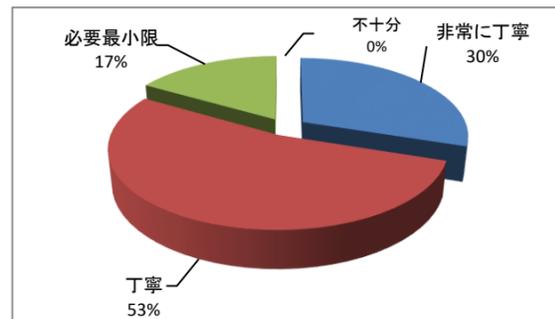
問(5) 生徒の技術的・技能的成長が見られましたか。



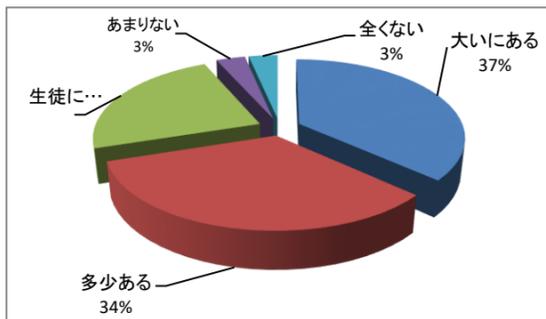
問(6) 生徒の人間力に関する向上が見られましたか。



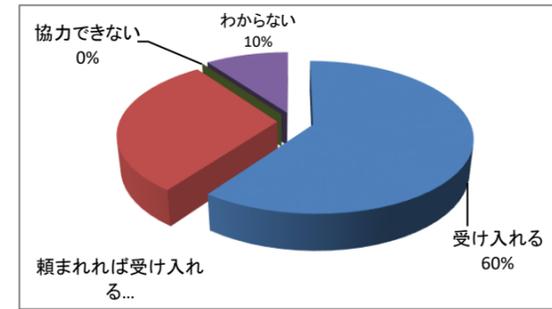
問(7) 学校側の対応をどう感じましたか。



問(8) 企業実習は企業としてのメリットはあると思いますか。



問(9) 今後も受け入れていただけますか。



企業実習の状況について

参加生徒数	37名
受入企業数	31社
アンケート回答数	30社 (回収率97%)
欠席・早退者数	0名・0名
事故・けが	0件

アンケート 回答数

問(1) 企業実習を実施して、全般的にいかがだったでしょうか。

非常によい	良い	普通	悪い	非常に悪い
11	16	3	0	0

回答数小計 30

問(2) 参加した生徒は研修に積極的でしたか。

非常に積極的	積極的	普通	消極的	非常に消極的
6	16	7	1	0

回答数小計 30

問(3) 生徒の能力は高いと感じましたか。

非常に高い	高い	普通	低い	非常に低い
6	16	7	1	0

回答数小計 30

問(4) 目標課題を達成することができましたか。

はい	いいえ	どちらともいえない
26	2	0

回答数小計 28

問(5) 生徒の技術的・技能的成長が見られましたか。

はい	いいえ	どちらともいえない
27	2	0

回答数小計 29

問(6) 生徒の人間力に関する向上が見られましたか。

はい	いいえ	どちらともいえない
20	2	8

回答数小計 30

問(7) 学校側の対応をどう感じましたか。

非常に丁寧	丁寧	必要最小限	不十分	改善を要望
9	16	5	0	0

回答数小計 30

問(8) 企業実習は企業としてのメリットはあると思いますか。

大いにある	多少ある	生徒による	あまりない	全くない
11	10	7	1	1

回答数小計 30

問(9) 今後も受け入れていただけますか。

受け入れる	頼まれれば受け入れる	協力できない	わからない
18	9	0	3

回答数小計 30

新校の学校像について

実社会の課題と向き合い、地域を学びの場に成長し続ける高校

生徒像
育てたい

- 探究的な学びにより身に付けた力で自分の未来を積極的にデザインできる生徒
- 他者や社会と主体的に協働できる、コミュニケーション力を持った生徒
- 多様な他者をつなぎ、新しい価値を生み出し、よりよい社会実現のために学び続ける生徒

学校像
目指す

- 地域をフィールドとした探究的な学びをとおして、課題発見解決能力を育む
- 学科や学年を超えた協働的な学びをとおして、キャリアデザイン力を育む
- 地域に開かれた学びを推進し、主体的に未来を創造し続けるための力を育む

須坂新校の取組

- 校外学習、校外活動の単位認定（ボランティア、大学の講義、海外留学など）
- 全学科でのデュアルシステム（校外での実践的な学び）
- 世代を超えた交流学习（中学校との合同探究発表会、地域への公開講座など）
- 探究の学びを深化させる「地域連携コーディネーター」が校内に常駐
- 地域との協働による生涯学習の拠点づくり

地域の人々と共に学び、地域の未来を共に創る コミュニティデザインハイスクール

- ◆ 実体験をとおして、自分と地域の未来を創造する学びを展開
- ◆ 各科の学びの成果をもとに協働的な探究を実施
- ◆ 情報リテラシーを徹底して学習し、いつでも、どこでも、ICT を積極的に利活用

農業科 — 商業科 — 工業科 — みらいデザイン科（仮称）

単位制

- 学科の枠を超え、他科の専門科目も履修して自身の学びを深化
- 学校を飛び出してのアクティブな探究活動を学びの中心に

連携

- コミュニティデザインを研究する国内外の大学との連携
- 地域を学ぶ国内外の高校生と交流

4 学科の連携で地域の未来づくりに参画

専門科の学びで得た農業・工業・商業・デジタルなどの視点

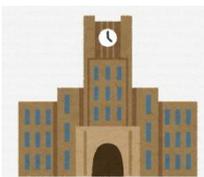
探究活動で得た芸術・歴史・福祉・国際などの視点

地域の方々との共同研究

須高地域共学共創コンソーシアム

新校が生涯学習の拠点

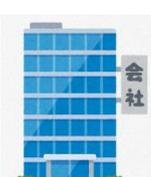
大学・専門学校



医療・福祉機関



地元企業・商工会



自治体



研究機関

